

カーボンニュートラル技術の開発と社会実装

【令和 7 年度当初予算額（案）】 107,701 千円

【事業概要】

これまでのカーボンニュートラル（CN）技術の開発・実証支援の成果や新たな技術等による事業化や産業化を支援することで、社会実装による設備投資や製品等の価値向上につなげ、CN の先進都市をめざす。

令和 7 年度は、CN 技術の万博会場などでの広報・発信や、CN 技術に特化したビジネス化支援の拠点機能の整備など、事業化・産業化を支援する。また、水素燃料電池（FC）商用車の導入や水素ステーション整備の支援により、物流等の水素活用による CN 化を推進し、ものづくり等の環境価値の向上をめざす。

【取組内容】

1 カーボンニュートラル広報・発信事業 40,083 千円《新規》

府の CN 技術開発・実証事業で開発された府内企業等の CN 技術の万博会場での出展や、会場外でのプロモーションによる企業間のマッチングなどを実施。

【万博期間中の展示例】

○万博会場での共同出展

→フューチャーライフエクスペリエンスでの共同出展



※展示イメージ
(提供: 2025年日本国際博覧会協会)

➢10月7日～13日予定
(SDGsに関するテーマ
ウィーク期間中)
➢CN技術開発・実証事業
による10社の開発成果
を披露

○万博会場外でのプロモーション

→JR大阪駅(うめきたエリア)地下コンコースでの展示



➢7月中予定
➢府内企業等の技術PR、
企業同士の交流の場
として活用

2 水素エネルギー産業利用促進事業 26,148 千円《新規》 <資料 1 参照>

3 カーボンニュートラル技術ビジネス化推進事業 41,470 千円《新規》

【目的】万博を機に、府内企業によるカーボンニュートラル技術のビジネス化を着実に推進するため、全国初のカーボンニュートラル技術の実装化支援等を行う拠点機能を整備。

【概要】オープンイノベーションの促進によるチームビルディング支援やコンソーシアム等の企業ニーズに応じたビジネス化サポートを通じて、企業のビジネス化プロジェクトを創出。

